

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

山形サンケン株式会社

東根市にある山形サンケン株式会社の若手社員、青柳達也さん（2015年入社）、滝口浩大さん（2018年入社）取材しました！

青柳さんは宮城県の大学を卒業した後、品質技術部デバイス技術課に勤務しています。滝口さんは山形県の大学で物質化学を学んだ後、品質技術部開発技術課に勤務しています。また、総務部総務人事課係長の長沼直博さんから、企業の取組などについてもお聞きしました。

（1）仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。

（青柳さん：以下「青」、写真右）

私はデバイス技術課に配属されています。現在の仕事は、主に歩留まり改善(注：不良品を少なくする)のために工程へのフィードバックです。

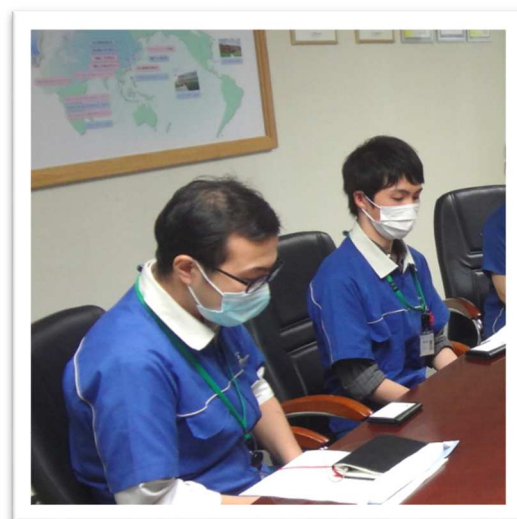
（滝口さん：以下「滝」、写真左）

私は開発技術課という部署に配属されています。新しい試作品・新規品のプロセスの設計や、既に生産している製品の新規プロセスを開発することが主な業務です。

——難しい仕事のように思えますが、最初はどのように仕事を覚えましたか。

（青）入社当時は教育担当の先輩社員が付いてくださったんですよ。一緒に工程の中を見学したり、プロセスを教えてもらったりしました。その先は基本的に業務をやりながら、その都度教えてもらうことが多かったです。

（滝）私も、そうですね……同じ課の中から、私の教育係ということで先輩社員に付いていただきました。装置の使い方や、データのまとめ方、試作業の注意点をその方から教わって、わからないことがあればその都度質問できる、というような感じでしたね。



——お二人が思う、山形サンケンの一番の魅力は何でしょうか。

(青) 福利厚生がしっかりしているので、比較的自分のプライベートを優先して働くことができることと、職場の皆さんも、こちらが悩んでいることがあれば、向こうから「大丈夫か？」と声掛けしてくれることがあるので、風通しの良い雰囲気が魅力だと思います。

(滝) 青柳さんが言っていましたが、私も風通しがすごく良い会社だと思います。相談しやすい、話しやすい会社の雰囲気が一番だと思っています。

(2) 職場編

——青柳さんは村山市出身、滝口さんは天童市出身だと伺いました。お二人とも村山地方が出身ということですが、山形サンケンに就職した理由はどのようなことでしょうか。

(青) 私はもともと宮城県の大学で、就職活動をしていました。その時特に「村山地域で就職したい」と考えていたわけではなく、たまたま自分の志望動機と山形サンケンが合致して、こちらに就職しました。



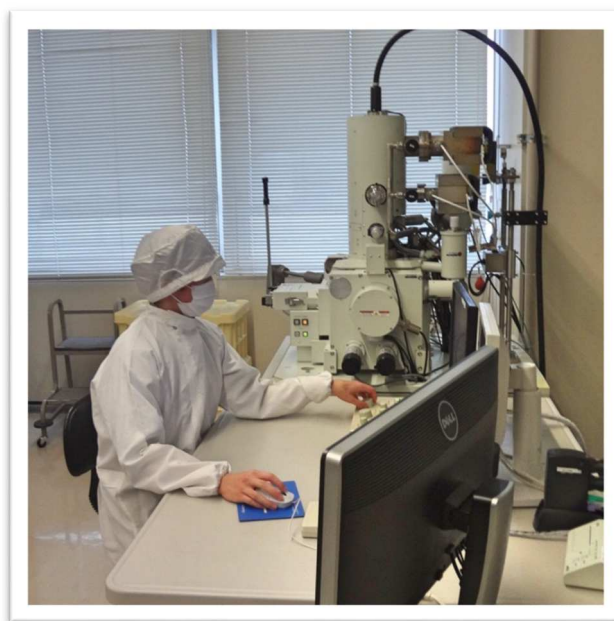
(滝) 私は地元で就職したいなと思っていました。山形は田舎のほうですが、この辺(山形市・天童市・東根市)だとある程度栄えているところがあり、利便性も悪くないと感じます。

大学は山形大学工学部で、現在の仕事内容とは全く違う分野のことを学んでいましたが、そこで山形サンケンに勤務しているOBの方と会う機会がありました。そしてこの会社について話を聞くうちに面白そうだなあと興味を引き、就職しました。

——入社して良かったと感じるところや、大変だったことはありますか。

(青) 地元が近いこともあり、近隣に私の両親も勤めています。そのため、先輩社員ともすぐ馴染むことができ、早く仕事を覚えることができたことが良かったです。

大変なことは……やっぱり、高校・大学では基本的に電気関係のことを専門的に学んできたんですけど、実際、半導体の企業に入ってみると、高校・大学では習わないことを一から学ばなきゃいけなかったの。工程の中のプロセスフローを覚えて、さらにそこから「どんな製品を作っているのか」というフローを覚えるのが苦労しました。

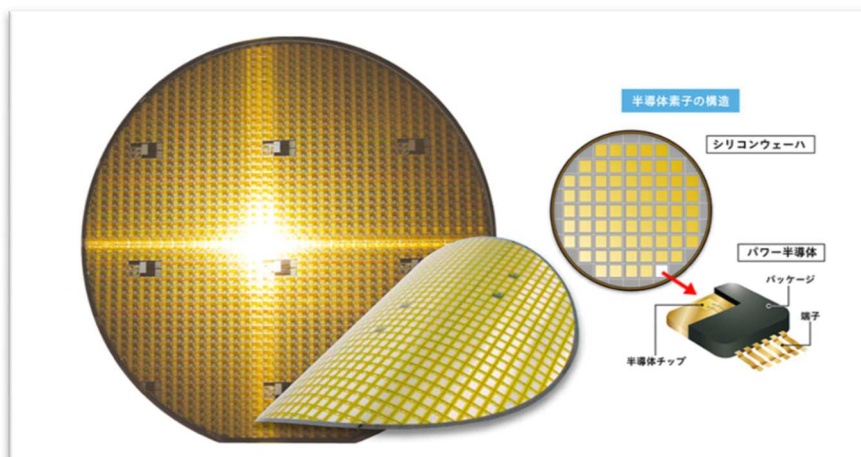


(滝) 会社の福利厚生がしっかりしているので、有休も取りやすい社風になっているところが良いですね。あとは、工場なので従業員が多いのですが、みんな親切な人なので働きやすいところも良いと思います。仕事中は話さないとかではなくて、仕事中でも割と話し合っ、賑やかという感じですかね。すごく風通しが良いというか、気兼ねなく話せる雰囲気ですね。

私は測定のために装置を使うのですが、その時にはもちろん担当者と「この装置使わせてください」といった話をするんですね。でも従業員は500人ほどいるので、顔と名前を覚えるのがすごく大変でした。そして、500人ともなるといろんな性格の人がいるので、コミュニケーションを取るのが大変でした。もともとコミュニケーションが上手い性格でもなかったの……。

大学生活では山形訛りを出したことはなかったんですけど、逆に会社の人には地元の人ばかり

りで、しゃべっているのが訛っているんですね。それに合わせて訛って話していると、向こうも結構理解してくれます。「標準語を使わない」じゃないですけど(笑)、どっちかっていうと、「訛って接する」イメージはしていました！



——総務の方にも伺いたいのですが、「やまがた子育て・介護応援いきいき企業」の優秀企業にも選ばれているということで、働きやすい環境づくりのために何か取り組まれていることはありますか。

(総務人事係係長 長沼さん：以下「長」)

最近では、育児休業について、女性だけでなく男性の取得も推奨しています。今のところ、大体月に1件ぐらいずつは、取得者がいる状況です。

やはり最近は、ワークライフバランスが重要視されているので、仕事と生活の両立を進められるように「ノー残業デー」を水曜日に設定して、総務から率先して働きやすい環境を整えているところです。山形の人は素直な人が多いので(笑)、「こういう取り組みをしましょう！」と言うと賛同も得られます。

それから、時間休制度を今年の5月から行っています。もともと有休は1日や半日単位での取得だったのですが、そこを見直して「時間休暇」ということで、最低1時間、最高2時間から休暇を取れる制度にしました。「丸々有休は使いたくないけど、親の介護や子供の送迎をしなければならない」という従業員の声を聞き出して導入しました。取得も進んでいますね。

私に限って言えば、今年の6月に家で作っているさくらんぼの収穫があったのですが、時間休を毎日取って、ゆっくり出勤していました。働きやすい職場づくりのアイテムになればいいなと思います。

——「従業員の声を聴いて」ということは、アンケートなどを行っているのですか？

(長) 働き方改革課というものがあって、従業員に向けてアンケートを取っています。「こういうところが悪いところだ」「こういうところをこうしてほしい」というような声を頂いて、簡単なところから見直していけるような工夫をしています。



「研修をしてほしい」というものは社内ですぐに改善できることなので、できることから新しい取組を展開しています。

——山形県内でも半導体をつくっている会社はあると思うのですが、その中でも山形サンケンではどのような強みを出していきたいと考えていますか？

（長）山形サンケンで製造している半導体は、省エネルギーの観点から電気自動車や再生可能エネルギーの高効率化にかかせないデバイスであるため、世界的な需要増加が見込まれており継続的な成長が見込まれています。

中でも当社は、今後のパワーデバイスに必須となる薄厚技術を保有しており、業界全体の成長に合わせたものづくりが見込めます。

(3) ある日の過ごし方編

(青柳さん)

●8:00【出社】

●9:30【ミーティング】

コロナウイルスへの対応として、間隔を広く取ってミーティングしています。

今はコロナウイルスの影響で面と向かって話せないんですけど、休憩時間に同僚と少し話すこともあります。



●10:00【装置対応】

担当する装置についての対応を行います。

●12:20【お昼休憩】

お昼休憩は、同僚と取ることが多いです。

●15:00【装置の確認】

午前中に対応した装置の結果を確認したり、次回の作業を確認したりします。

●17:00【退社】

(滝口さん)

●8:00【出社】

●9:30【測定、データ取得】

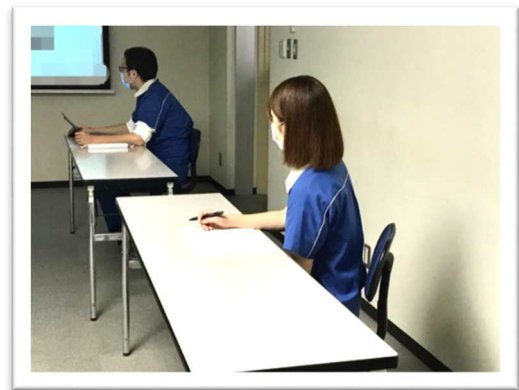
午前中は工場内に入り、実際に装置を使うことがあります。その他にも、測定機器を使って測定やデータ取得を行っています。

業務で一緒になる方は歳が離れていたり、勤務のシフトが違ったりするので、なかなか同僚と話す機会っていうのはないんですが……青柳さんみたいに歳が近い方もいるので、そういった方とはよく話しています。



●13:00【本社との打ち合わせ】

午前中に取得したデータについて本社と話し合い、次はどうかといった方向性を検討します。午前中に打ち合わせをして、それを踏まえて午後には測定を行う日もあります。



●17:00【退社】

終業時間が近くなったら翌日の予定を確認し、退社します。週に一度、終業後にソフトボールの練習に参加します。

(4) むらやまでの暮らし編

——退勤後や休日はどのように過ごしていますか？

(青) 退勤後は、いつも疲れているので、すぐ帰ることが多いです。休日にご飯食べに行きますね。この辺だと 48 号線があるので仙台にも行きやすくて、仙台の友達と遊ぶこともあります。

(滝) 週に一回なんですけど、終業後にソフトボールチームの練習があるので、それに参加しています。休日は他のチームとの試合に参加しています。あとは、山に入って釣りをすることも趣味ですね。



——山形サンケンには、他にはどのような活動があるのですか？

(長) その他に、山形サンケンとしては施設を取り揃えていますね。庄内や蔵王に会社で契約している宿泊所があります。社員とその家族限定ですが、会社の補助を含め、格安で宿泊できるようになっています。あとは、レクリエーションも開いています。職場単位でボーリングなどを行い、率先してコミュニケーションの場を設けています。

——村山地域で暮らしていてよかったと感じることはありますか。

(滝) 利便性が良いので暮らしやすいのと、自然が多くあるところですね。自然ももともと好きなので。

私は会社に入ってから釣りを始めました。会社の人から最初に誘われて、「お前もやってみろ！」と言われて始めた感じですね(笑)。山寺の奥のほうまで行って溪流釣りをします。



(青) 私の趣味なのですが、スノーボードをやっているんで、蔵王が近くにあるのはボーダーとしては嬉しかったですね(笑) スノーボードはもう4年くらいやっています。

——村山地域でおすすめの場所があれば教えてください。

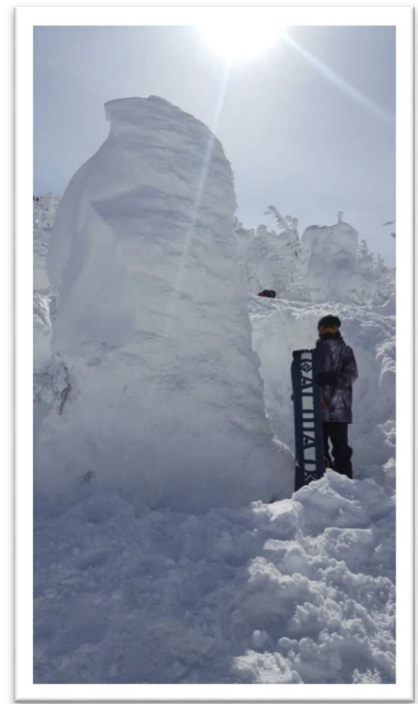
(青) 趣味の話と被るんですけど、蔵王ですね。温泉もあるし、景色もすごく良くて。冬に限らず夏も温泉に行くことがあるので、おすすめの場所です。

(滝) 私の場合は、山寺とか、山とか川があるところ、自然があるところを良くドライブしに行きます。農道とか周りが田んぼしかないようなところも、夜にドライブしてみるとすごく気持ちが良いので、山がおすすめというか(笑)好きなところですよ。

——村山地域で好きなものはありますか？ 食べ物やお酒、スイーツなど…。

(青) スイーツ……。昔から尾花沢のスイカが好物で。毎日でも食べたいくらい(笑)。

(滝) 私は、そうですねえ……。ラーメンが好きなんですけど、天童市にある「水車生そば」の鳥中華が美味しくて。よく食べに行きますね。



(5) まとめ編

——仕事のやりがいとはどのようなところにありますか？

(青) 歩留まり改善が主な業務なので、開発とは違って、異常が見つかって初めて動く仕事です。それでも、自分で考えて異常な工程を見つけて、同じ職場の人たちと一緒に改善できた時はやりがいを感じます。

(滝) 私は試作品を作って、それをサンプルとして本社で評価してもらって、それを実際に製品として作ろうとなった時ですね。その製品が工場内でたくさん作られているのを見ると、「試作のとき、頑張ってたなあ」と思って、やりがいを感じることはありますね。

——山形サンケンではどのような人材が求められていますか？ 必ずしも大学で半導体などの専門を学んだ人でなくても大丈夫なのでしょうか？

(長) 全く問題ありません！ 「素直であること」が一番大事なのではないかと思います。幸い、青柳さんや滝口さんは素直な人たちで、何が良いかという、やはり、人の話を聞けること。人の話を聞けるというのは、人の話を取り込んで、自分の中で成長できる。そういうところが、自分の成長、会社の成長につながるんだと思います。



「どういう勉強をしてきてもいい」という言い方をすると、自分が専門的に学んだ知識や能力を生かしたいという学生さんには、ちょっと否定的な言葉になってしまうかもしれませんが、背景が違っていても、社内に入ってから、しっかり活躍できると私は思っています。インターンシップ・工場見学はいつでも可能ですので、是非、「自分の専攻ではないから」という壁を取っ払っていただけると良いですね。

——今後、就職活動を行う人へのアドバイスはありますか。

(滝) 私は工学部で、化学を学んでいたんですが、就職活動を始めてすぐは自分の学んでいることに近いところということで、製薬会社とか、化学系のところを選んでいました。ただ実際、今は全く違った業種で働いているので、新しい知識とか今まで知らなかったことをやることができますね。

今自分が学んでいることと近いところだけで業種を絞ってしまうと、なかなか多くの会社を見ることができないので、自分とは関係のないところでも企業見学とか回ってみると良いのかなと思います。

(青) 私が就職活動した時も、自分が専門的に学んできたことを生かした職に就こうと思っていました。でも、実際に色々な企業を見ていくと、自分が好きなものや、自分の性格に合った企業が見つかってきます。なので、業種に限らず、色々な種類の企業の説明を聞いて、自分に見合った企業を見つけると良いのかなと思います。

——ありがとうございました！

若手社員の青柳さん、滝口さんともに自分の仕事に誇りを持っており、少しでも製品が良くなるよう、そして会社の成長に貢献できるよう、向上心を持って取り組まれている姿が印象的でした。

総務部の長沼さんの話からも感じられるように、若手社員に限らず、山形サンケンさんに勤めている方々それぞれが、製品や会社への熱い想いを持っているからこそ、働きやすい職場になり、「山形サンケン」の魅力が溢れてくるように思います。係長である長沼さんの「素直であることが一番」というお話は、学生に限らず、きっと多くの方々に当てはまることであり、忘れてはならないことだと感じました。



【インタビュアー：
山形大学人文社会科学部
高橋依吹・御船結賀、
地域教育文化学部 山岸和】

山形サンケン株式会社

【Innovation ～未来への変革～】

お客様のために、社員一人ひとりのために、そして社会のイノベーションのために、パワーエレクトロニクスを通じて貢献していく企業を目指しています。

★健康経営優良法人ホワイト 500、やまがた子育て・介護応援いきいき企業優秀企業（ダイヤモンド）など認定

- ・所在地 山形県東根市大字東根甲 5600 番地の 2
- ・設立 昭和 56 年 10 月
- ・従業員数 464 名（男性 413 名、女性 51 名）※2020 年 9 月現在
- ・URL <https://www.sanken-ele.co.jp/yamagata/>

